

会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年5月21日

計画の名称	15 松山外環状道路の整備により松山市臨海地域を核とした活力あるまちづくりを支援する道づくり							重点計画の該当	○			
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)			交付対象	愛媛県、松山市							
計画の目標	地域経済の発展及び広域的な交流・連携等に必要不可欠な高速道路等と、交通拠点及び生活圏域を結ぶICアクセス道路等の整備を促進し、物流及び交流ネットワークの強化を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	交通拠点または生活圏域から、高速道路IC（松山IC）における移動時間を53%短縮する。											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
交通拠点または生活圏域から、高速道路IC等における整備前後の移動時間の縮減率を算定する。 縮減率 = Σ [整備後のアクセス時間（時間） / 整備前のアクセス時間（時間）]					当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	・（国土強靱化地域計画名）に基づき実施される要素事業 ・（定住自立圏共生ビジョン名）に基づき実施される要素事業 ・（連携中核都市圏ビジョン名）に基づき実施される要素事業				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,605百万円	A	7,605百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
15-A1-1	道路	一般	愛媛県	直接	—	県道	改築	(一)久米垣生線 余戸南～余戸西	バイパス L=0.60km	松山市						430	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-2	道路	一般	愛媛県	直接	—	県道	改築	(一)砥部伊予松山線 余戸西	現道拡幅 L=0.20km	松山市						36	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-4	街路	一般	愛媛県	直接	—	S街路	改築	(都)来住余戸線	バイパス L=0.49km	松山市						158	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-5	街路	一般	愛媛県	直接	—	S街路	改築	(都)余戸北吉田線	現道拡幅・バイパス L=1.28km	松山市						4,749	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-6	道路	一般	松山市	直接	—	市町村道	改築	(1)松山外環状線 余戸西工区	バイパス L=0.795km	松山市						784	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-7	街路	一般	松山市	直接	—	S街路	改築	(都)来住余戸線	バイパス L=0.90km	松山市						119	—	注7:社会資本整備交付金	
15-A1-8	街路	一般	松山市	直接	—	S街路	改築	(都)余戸北吉田線	バイパス L=0.68km	松山市						1,329	—	注7:社会資本整備交付金	
											合計（道路事業）					7,605			

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29					
											合計					0			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
											合計					0	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年5月21日

計画の名称	15 松山外環状道路の整備により松山市臨海地域を核とした活力あるまちづくりを支援する道づくり			重点計画の該当	○
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 松山外環状道路空港線側道部の供用を平成29年度に開始し、松山IC～松山空港間のアクセス時間が縮減された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（交通拠点または生活圏域から、高速道路IC等における整備前後の移動時間の縮減率）	最終目標値	0.47	目標値と実績値に差が出た要因	目標値は平成22年センサスの旅行速度をベースに設定しており、実績値を算出するにあたり平成27年センサスの旅行速度を用いた結果、一部区間において著しく旅行速度が低下していたため、目標に対し2ポイントの縮減が達成できなかったが、概ねの整備効果を発現できた。
		最終実績値	0.49		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 松山外環状道路空港線側道部の供用により、並行道路の旅行速度が改善、交通事故数が減少傾向にある。 			

(参考様式3)

計画の名称	15 松山外環状道路の整備により松山市臨海地域を核とした活力あるまちづくりを支援する道づくり		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)	交付対象	愛媛県、松山市

